

【国土交通省】

大阪航空局

資料



# 空港の津波対策について

資料

## 【空港の津波対策の検討経緯】

- 東日本大震災における仙台空港の津波被災を踏まえ、学識経験者等からなる「空港の津波対策検討委員会」（委員長：轟朝幸 日本大学理工学部教授）を設置して、空港の津波対策の方針を策定。

## 【空港の津波対策の方針】（平成23年10月策定）

- 避難行動を基本とした対策により、空港内の旅客、周辺からの避難住民及び地上走行中の航空機の乗客等の人命を保護。
- 関係機関との間の協力体制を構築し、発災後3日以内に、救急・救命活動や緊急物資輸送活動等の拠点として活用するために最低限必要な施設を利用可能とし、空港機能の早期復旧を図る。

### 1. 人命保護対策

#### 津波避難計画の策定

- ・地震情報の入手・伝達手法の確保
- ・避難計画の発動基準設定
- ・避難場所・避難経路の設定
- ・関係機関との連携

#### 体制・役割 分担等

#### 訓練等の 実施

地上走行中の旅客機内の乗客・乗員の安全確保

### 2. 早期復旧対策

(1) 漂流物対策：瓦礫撤去計画策定

(2) 電源の早期復旧：仮設発電設備設置計画の策定

(3) セキュリティエリアの早期確保

(4) アクセス確保や排水作業支援

※ハード対策として発電施設収納部の水密性向上を別途実施

## 【津波対策の検討が必要と考えられる空港】（赤字は大阪航空局管内の国管理空港）

- ① 津波リスクが高い空港： 仙台、羽田、中部、関空、**高知**、**宮崎**、**大分**、新島、奄美、喜界、徳之島
- ② 上記以外の津波リスクが考えられる空港： 稚内、新潟、那覇、岡南、広島西、下地島、多良間、石垣、波照間